

会派に属さない議員
賛成 清水 大

議案第1号令和8年度一般会計予算案については、十分妥当性があり、おおむね賛成すべきとの結論に至りました。このもとち目線での学校設備の改修、答えのない教室の導入などの果敢なチャレンジは評価できます。議会念願のフリースクール通学助成については、大きな第一歩であると評価します。しかしながらその予算額は、本市の不登校児童生徒数から考えると心もとないものであり、要望があれば予算を補正するなど柔軟に対応することを要望します。

会派に属さない議員
賛成 矢口 輝美

本予算は、こども施策や教育など将来を見据えた内容であり、その方向性を評価し賛成します。特に、こども施策では組織を超えた連携と権利を守る仕組みの強化、教育では現場に無理なく定着する運用と人材確保が必要で、また、都市整備については、優先順位や市全体のバランスを踏まえた判断が求められます。以上、本予算は本市の未来に向けた大切な一歩であると受け止め、令和8年度流山市一般会計予算について、賛成します。

会派に属さない議員
賛成 森田 洋一

行政サービス需要の増大、市債残高の膨張傾向により「今そこにある危機」の回避が急務です。原点回帰の発想、次世代に負担を残さない、たゆたえども沈まずの色彩が濃いですが、ブランド価値の安定、交流人口の増加、市民の活動機会提供などの根本的思想は変わらず、攻めと守りが表裏一体の内容です。未来指向のストーリー性ある事業展開と同時に、全ての人に温かく懐古の情を抱かせる、市民ひとりひとりがまちを作る歴史の主役であり続けることを期待します。

会派に属さない議員
賛成 楠山 栄子

本予算案は現下の物価高騰や不透明な経済情勢を的確に捉え、バランスの取れた予算と確信し賛成します。2点指摘要望します。①東部地域のまちづくり「地域が取り残されている」と失望の声があります。どの地域でも「流山に住んで良かった」と実感できる、実効性ある施策を最優先で展開すべきです。②高齢者人口が増加する中、住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、さらなる支援が不可欠です。特に、移動支援の抜本的な拡充は必須です。

本会議のインターネット中継で

手話通訳を実施しています

流山市議会では、令和元年第3回定例会から、本会議のインターネット中継に手話通訳の同時中継を実施しています。これは、平成31年4月1日施行の「流山市手話言語の普及の促進に関する条例」を受け、議会独自の取り組みとして開始したものです。

手話通訳は流山市などに登録している手話通訳者が交代で行い、傍聴席の一面に設置した手話通訳の専用スペースから生中継で配信しています。

議会中継は、市議会ホームページからご覧いただけます。どうぞご利用ください。



インターネット議会中継での手話通訳の様子

こちらからも
ご覧いただけます



流山市議会 議会中継

検索

議会共通指摘要望 (全32項目) 令和8年度一般会計予算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	(1) 通学路合同点検で要望されている横断歩道について、設置実現に向け、必要な働きかけをされたい。	誰もが自分らしく暮らせるまち	(4) 障害福祉事業所等のケアワーカーについて、処遇の実態把握に努め、必要な処遇改善を図られたい。
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	(1) 受動喫煙防止対策助成金に対しては、申請実績が低い要因を詳細に研究・分析し、周知方法の改善等により申請を増やす努力をされたい。	子どもをみんなで育むまち	(5) やさしいお店認定事業については、制度の周知とともに合理的配慮についても広く周知啓発を図り、雇用環境の更なる充実を図られたい。
	(2) 健康ポイント事業については、自主的な健康づくりの意識づけを行うために市民に広く周知を図られたい。		(1) 引き続き学校プールを使用する小学校における教員の負担軽減について確実に実施されたい。
	(3) 夜間小児救急をはじめ、救急医療の持続的な体制確保については、本市のみで完結できる問題ではないことから、補助金や負担金の投入や人的支援も視野に入れ近隣市と連携することにより、体制確保に努められたい。		(2) 特別支援教育推進事業については、障害等に対する専門的な知識を持つ教員の育成や、外部専門家との連携強化を図られたい。
	(4) 救急医療体制について、維持・充実を図るため、市内の救急医療機関における固定費等の実態把握に努め、必要な措置を図られたい。		(3) フリースクールに通う児童生徒の保護者に対し、授業料等の負担軽減に向けた補助制度の早期実施を図られたい。
	(5) 带状疱疹ワクチンの任意予防接種については、対象者への周知とともに効果や接種方法等についてもきめ細やかな周知を図られたい。		(4) フリースクール助成については、千葉県が行う補助に加えて上乘せ補助を実施されたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	(1) 喫煙所の設置については民間事業者との協議を進めるとともに、路上喫煙等指導員の必要な人員を早急に確保して指導や啓発に努め、路上喫煙をなくすための持続可能な体制を構築されたい。	体系外(市総合計画における6本の「まちづくりの基本政策」以外に分類される事務事業)	(5) 深刻ないじめ事案については、学校・教育委員会・関係機関との初動段階からのスムーズな連携体制を整えるとともに、加害児童生徒の加害行動の背景にある心理的要因にアプローチする、心理教育的介入プログラムの研究を行われたい。
	(2) 流山市スズメバチ駆除費助成金については、市民の安全確保に直結する事業であるため、申請者数に対して予算の不足が生じないように予算額を増額されたい。		(6) 夏休み子ども教室については、こどもたちが安全かつ安心して利用できる環境整備に努めるとともに、配慮が必要な子どもの受け入れ体制についても十分な対応策を講じられたい。
	(3) 真夏の酷暑から市民の命を守るため、涼み処の取組については、利用施設のさらなる拡充及び周知の強化を図り、誰もが安心して利用できる体制の整備を進められたい。		(7) 若者まちづくりプロジェクトの提案を、制度的に継続して市政に反映し、確実にフィードバックする仕組みの構築を図られたい。
	(4) クリーンセンター事務管理事業について、市民が使いやすい指定ごみ袋の規格を増やすことを検討されたい。		(1) 行政課題の高度化に対応するため、専門的なスキルを有する市職員の確保及び育成をさらに拡充されたい。
	(5) 高齢化が進展しているため、交通不便地域について、交通政策の充実に向け、伴走体制を強化されたい。		(2) 職員のさらなるOAスキルの確実な向上に向け、研修プログラム等の取組を強化されたい。
	(6) 酷暑により深刻化することが予想される倒木や落枝対策に対し、効果的な予防保全について情報収集、試行を行われたい。		(3) すべての部署において事務所衛生基準規則に定める一人当たり執務スペース約1.4坪(約4.8㎡)を確実に確保するよう着手されたい。
	(7) 耐震改修補助と断熱改修補助の組み合わせについては、その概念と効果を広く市民に理解されるよう、広報を強化されたい。		(4) 公共施設における詳細診断について、実施計画に位置付けるとともに、実施するための予算措置をされたい。
誰もが自分らしく暮らせるまち	(1) 個別避難計画の作成に当たり、福祉部門と防災部門との連携を一層強化し、ひなんさんぽ等を通じてより実効性を高めた計画とされたい。	(5) 労働条件審査については、各担当課が制度の趣旨を十分に理解した上で、実効性のある審査を計画的に進められたい。	
	(2) 民生委員・児童委員のタブレット活用に当たっては、操作への不安を解消できるよう、習熟度に応じた丁寧な研修を実施されたい。	(6) 市制施行60周年事業においては、千葉県知事の招へいが可能となるよう尽力されたい。	
	(3) 障害者就労支援センター運営事業のチャレンジドオフィスながれやまについては、一般就労に結びつけるための支援策をより一層充実されたい。	(7) ホームページを見やすく分かりやすいものとするとともに、YouTube等のSNS活用の強化を図り、市民に対するさらに分かりやすい情報提供を積極的に推進されたい。	

令和8年度流山市予算書は、流山市のホームページでご覧いただくことができます。

令和8年度予算 流山市

検索

または

